

# 代表質問発言通告書

発言順位 6 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成 28 年 2 月 23 日

三島市議会議長 松田吉嗣 様

三島市議会議員 10 番 下山一美



## 質問事項及び具体的内容

### 1 平成 28 年度予算案 — 市民生活の向上をめざす予算に

- (1) 施政方針では、水道料金等の在り方について審議会に諮問する意向が示されたが、一方で、一般ごみ収集手数料の徴収などの公共料金の負担増が検討されている。国民健康保険税の引き上げ、消費税の 10% への増税や社会保障関係費用など負担増などが続き、市民生活は困難のもとにある。受益者負担の原則などを理由に新たな負担を求めることは市民生活の向上に逆行するものではないか、見解を伺う。
- (2) 大規模地震での住宅倒壊を防ぐために、地盤液状化対策への補助の実施を求める。
- (3) 子育て支援策として昨年 11 月議会で提案した「幼稚園での預かり保育の実施」「保育園での育休退園の廃止」「非婚ひとり親みなし寡婦控除の適用」の 3 つの施策の新年度の実施予定は。

### 2 子どもの貧困対策について — 子どもの貧困対策の推進に関する法律、大綱にもとづく施策の実施を求める。

- (1) 『子どもの貧困対策の推進に関する法律』では、第 4 条で市町村の責務を規定しているが、三島市としてどのように果たしていくのか — 先進自治体の例に倣って積極的な取り組みを求める。
- (2) 外からは見えにくい子どもの貧困の実態把握を含め、今後の子どもの貧困対策のための計画の策定を求める。
- (3) 生活保護・準要保護世帯等の子どもの実態と、高校進学を支える支援の実施について。

### 3 介護保険制度 — 平成 29 年度実施予定の介護予防・日常生活支援総合事業に向けた現状と課題

- (1) 介護予防・日常生活支援総合事業の来年度実施に向けた現状について。
- (2) 第 6 期介護保険事業計画では、重要ないくつかの事業が縮小または事実上の取り組みなしとなっているが、これまでと同等のサービスの供給がされるようにすべきではないか。
- (3) 介護保険制度の大幅見直しにより、負担増、サービス減などの影響を受けている実態について。